

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学2、3年	教科／科目	音楽	時間数	1
単元名	器楽 アルトリコーダー			使用教材	
単元の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの演奏方法を習得する ・アルトリコーダーの表現について考える 			中学生の音楽 器楽	
評価規準				単元内容	
発展	A3	B3	C3 音楽を奏でる喜びや、グループで合わせる喜びを実感することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーを吹く際の正しい姿勢や息の入れ方を習得する ・基本的な各音の運指を覚える ・音を出すこと自体は容易な楽器であるため、より良い音を追求する ・音楽を奏でる喜びや、グループで合わせる楽しさに気づく 	
	応用	A2 ・美しい音が出る適切な息の強さを把握している ・スタッカートやレガートなどの奏法記号を理解している	B2 楽譜に忠実に演奏することができる		
基礎	A1 ・正しい姿勢で吹くことができる ・タンギングを理解している	B1 低音やサミングでも美しい音を出すことができる	C1 スムーズに曲を演奏することができる	<p>〈留意点・評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価ルーブリックを作成し、生徒自身と教員で成果を確認する ・実技試験を行い、表現や演奏技術を評価する 	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学3年	教科／科目	音楽	時間数	1
単元名	鑑賞 『ボレロ』			使用教材	
単元の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・曲全体を通して繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律に注目し、音楽の良さや美しさを味わって聴く ・音色や強弱の変化に注目して鑑賞する 			中学生の音楽2.3下	
評価規準				単元内容	
発展	A3	B3	C3	1. 作曲者 M.ラヴェル(1875-1937 ロマン派時代) 2. 楽曲について ◎曲全体を通して、1つのリズムと2つの旋律が繰り返される ◎リズムや旋律は曲全体を通してほとんど変化しない分、演奏する楽器と強弱の変化が際立っている ◎曲のみで使用されることが多いが、バレエのための音楽であり舞台芸術として鑑賞することも可能	
	A2 曲全体を通して、一つのリズムと二つの旋律が演奏されることを理解する	B2 各楽器の音色の印象の違いを感じ取り説明することができる	C2		
基礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉 ・ワークシートを使用し、自身の考え・友人たちの考えを記録する ・楽曲について理解したことや感想をレポートにまとめ、共有する	
	作曲家と時代、オーケストラについて知る	リズムと旋律は変化がなく、楽器と強弱には変化があることを意識して鑑賞することができる	音楽を構成する要素に興味を持ち、各楽器の音色や音色の重なりを味わって鑑賞し感じ取ったことを説明することができる		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学3年	教科／科目	音楽	時間数	1
単元名	歌唱『花』			使用教材	
単元の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う ・日本語の美しい響きを大切に、発音に気をつけて歌唱する 			中学生の音楽2.3下	
評価規準			単元内容		
発展	A3	B3	C3	1. 楽曲の基本事項 作詞者 武島羽衣／作曲者 滝廉太郎 4分の2拍子、付点16分音符、32分音符、フェルマータ、a tempo、rit 2. 楽曲の特徴 ◎華やかで春の喜びに満ちた楽曲 ◎付点16分音符や32分音符の細かい音符が多用されている ◎強弱変化が大きく、終盤で速度変化もあるため、表現に工夫を凝らしやすい	
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚を意識している ・日本語(特に鼻濁音に注意)を歌う際美しい発音方法を理解している 	日本語を美しく発音し、歌詞の内容が伝わる演奏をすることができる	曲の美しさを十分に表現し、人々に感動を与える演奏をすることができる		
	歌詞の内容や情景を理解している	歌詞の内容を理解し、情景を思い浮かべながら演奏することができる	聴いている人にも楽曲の情景が伝わるような表現を考え演奏することができる		
基礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉 ・ワークシートを使用し、楽曲について個人考察・グループ考察を行う ・実技試験を行い、表現や演奏技術を評価する	
	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を覚える ・楽曲の基本事項を理解している ・歌唱の際の正しい姿勢、美しい発声を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜に記された音楽記号の意味を理解し、楽譜通りの演奏をすることができる ・美しい発声で演奏することができる 	音楽記号を効果的に生かす独自の表現を考えて演奏することができる		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		